

今が勝負時！！

日本中、コロナウイルスで大変ななっていますが、君たちの受験は刻一刻と迫っているのも現状です。大阪府では、5月6日まで学校が休校。休校ラッキー！ではなく、この休校期間をいかに有効に過ごせるか。今年の受験生はこの1ヵ月間が大きな分かれ目になるでしょう。

例年3年生は、部活を引退した夏頃に切り替えて本格的に受験対策に取り組む人が多いです。夏休みには、学校の授業もないので、講習を利用したり、自分で問題演習（自習）にたくさん取り組んでいます。しかし、47期生はコロナウイルスの影響で、夏休みもどうなるのか分かりません。休校になった分、補充授業になることも予想されます。ということは・・・・・・

⇒ **夏休みがこの休校期間（1ヵ月間）に前倒しになったと捉えるべき！！**

大阪府立高校3年生はみんな同じ条件です。この1ヵ月間、意識高く取り組めるかどうか・・・・それは、誰でもなく君次第！！コロナだからと言い訳はしないで、後悔しないためにやり切ろう！！

受験は大阪の高校生だけではなく、全国の高校生・浪人生と勝負（ライバル）になります。大阪府が休校の間、他府県では4月から再開する学校もあります。学校で真剣に授業を受けているライバルもいる中、休校中家でただただ過ごすとうなるか・・・・・・必ず差がつきます。そうならないためにも、1ヵ月間、何をすべきか計画を立てて取り組んでいきましょう。

休校期間中、各科目から課題が出されます。まずは、その課題に真剣に向き合って取り組むこと。授業がない状況で少しでも習熟できるように先生たちが準備した課題です。1・2年生で学習したことを思い出せる、または3年生の授業をスムーズにスタートできるチャンスだと思って頑張りましょう。

受験生なら、課題＋αで勉強してほしいのが本音です。具体的に何をすればいいのか分からない人も多いと思うので、各教科の夏までの勉強法を参考にしてください。自分に合うやり方を見つけて取り組んでみましょう。

国語《竹本》流勉強法

短期的に成績を上げるのが最も難しい科目と考えて、少しでも早く勉強を始め、継続して欲しい。

現代文…語彙力が基本となる。語彙力は一朝一夕に身につかないので、毎日積み上げていく必要がある。また、漢字の意味が分かれば語の意味を推測できるので、漢字を覚える際も意味を把握しながら覚える。慣用句やことわざ、四字熟語等の知識もしっかりつけておく。

評論文で出題されるテーマは多岐に渡る。どのような分野の文章でも抵抗なく読み進めるようになるために、多くの文章に触れ、読み慣れること。難解な文章は、理解できるまで根気よく何度も繰り返して読む。そして、その都度、その分野に関する知識を深めていく。問題集を解いたあとは、必ずやり直しを丁寧にし、できれば本文の要約もすること。世の中の動きや、社会問題に関心を持ち、話題の新書などを読むとよい。

右へ続く→

古典…古文は、古文単語・古典常識（当時の文化や制度、生活様式など）・古典文法が基本となる。古文単語は単語だけでなく文ごと理解しながら覚えていく。古典常識は、古文単語315のp275～の内容を最低限理解しておき、もっと幅広い内容に関しては便覧（図説国語）を活用する。文法は、用言、助動詞、敬語を中心にしっかり復習すること。古文が苦手な人は、1・2年で扱った作品「土佐日記」「伊勢物語」「竹取物語」「更級日記」「源氏物語」など、馴染みのある作品を中心に自力で口語訳していくとよい。口語訳の意味が分からない場合は、①主語が分かっていない②古典常識の知識不足③状況や心情の読み取りができていない、などが考えられるので、その都度必ず分かるまで分析していく。

漢文は、語彙・句法が頭に入っているかどうかにかききる。漢字の読み・意味を逐一調べ、覚えていく。句法は、授業だけで網羅できないので、一通り問題集で学習し、口語訳できるようにしておく。

【おすすめ参考書・問題集】

基本的に授業で使用しているものをきっちりとやるように。更に取り組む意欲がある人は、

現代文…入試現代文へのアクセス（河合出版）→基本編・発展編・完成編とレベル別の問題集になっている。

出口汪 現代文講義の実況中継（語学春秋社）

古文…古文入門、古文上達、最強の古文（Z会）→レベル別問題集になっている。

中堅私大 古文演習（河合塾） 望月光 古典文法講義の実況中継（語学春秋社）

漢文…基礎からのジャンプアップノート 漢文句法・演習ドリル 改訂版（旺文社）

数学《砂田》流勉強法

1問の問題に対して、「この問題分かった？」と聞くと、

8割理解しているが2割理解できていないAさんは「分からない」と答え、5割理解しているBさんは「分かった」と答えた。

どちらのほうが、今後成績がUPしていくか？・・・「分からない」と答えたAさんです。

数学はどれだけしっかりと理解できているかで、入試問題の出来が左右されます。「分かったつもり」にならないこと。分かったつもりだと同じ問題にまた出会ったとき、やったことあるけどどうやって解くんや？状態になります。

そうならないための勉強法は、『やったことのある問題集（4プロまたはFocus Gold）に取り組む！！』

①4プロセス・・・理解できていないところが多い単元で取り組む

→A問題、B問題の**教**マークがついている問題を徹底してする。 （問題数が多いので＊マークの問題のみでOK）

②Focus Gold・・・ある程度理解している単元で取り組む

→標準レベル（＊＊）、応用レベル（＊＊＊）の問題を徹底してする。

①②どちらも、答えに頼らずまずは解いてみる。問題の出来に応じてマークをつけておくと、2周目する際に有効。

（◎何も見ずに解けた ○教科書を見て解けた △答えを見ながら理解できた ×理解できない など）

→◎がついた問題は定着しているので、2周目にやる必要はない。

過去問は、夏以降でOK！それまでに1・2年生で学習したことを徹底的に取り組む！

【おすすめ参考書・問題集】

夏までは、今まで授業や宿題で扱っていた教科書・問題集だけで十分です。

数学《野間》流勉強法

「一単元ずつ」徹底的に克服していく。

センター過去問などで点数が上がる実感（達成感）を味わえる。モチベーションUP！

物理《西本》流勉強法

物理に必要な力は

① 数学力 ② 国語力 ③ 想像力（イメージ）

①は数学の授業を大切にすること ②は国語の授業を大切にすること ③は物理の授業を大切にすること

物理が得意な人は①～③すべてが身についている。逆に物理が得意でない人は①～③のどれかが欠けている。

夏まではセンサー物理のみで十分。その分数学と英語に力を入れなさい。

【おすすめ参考書・問題集】

センサー物理…苦手な人は Step2 までを1周する。得意な人は Step3 までを1周する。

・国公立大2次・難関私大対応

→物理重要問題集…王道の問題集だけど難しいので夏くらいからでOK。

・基礎から解法を身につけたい

→物理のエッセンス…参考書＋問題集の形式。初めは読み解くのが大変だが、ついでに国語力も鍛えられる。

化学《小島》流勉強法

授業で使っている「セミナー化学基礎＋化学」は、大学入学共通テストレベルから国公立二次試験まで使えます。

夏までは、学習した範囲の「基本例題＋基本問題」を一周解く。

解く時の注意は、解答をすぐに見ないこと！わからないときは、

①まずは問題をじっくり読み、自分で教科書や問題集のまとめ、例題を参考に解いてみる。

②それでもわからなければ、解答冊子を見る。そのとき、解答だけでなく、解説もしっかり読む。

③授業担当者も活用しよう。

はじめは時間もかかりますが、そのうち自分で解決できるようになり、自信がついてくるでしょう。あきらめずにこつこつと！

夏までは「セミナー化学基礎＋化学」のみで十分。その分数学と英語に力を入れましょう。

【おすすめ参考書・問題集】

とりあえずは「**セミナー化学基礎＋化学**」で十分！夏が過ぎたら、過去問もやろう。

英語《戸田》流勉強法

◎英語の勉強で大切にしてほしいこと

・**続けられるように勉強する。どんな勉強法も続かなければ意味なし。**

・**単語より英文に時間を割く。（英文を読む・聞く・書く・音読 etc.）**

長文：早く正確に読む力と推測する力をつけよう！

・過去問を解くときは

① 時間を計って解く。②時間を気にせず精読（細かく読む）する。

試験時間内に読めなければ意味がない。最初は全然時間が足りなくてもOK。プレッシャーを感じながら読むことが大切。

・知らない単語で立ち止まらない

絶対に知らない単語はある！しかし文章の流れの中で**意味が推測できる**ようになります。これは実際にたくさんの英文を読むことでしか身につけることはできません。

文法：反復練習あるのみ！

・できれば夏休みまでは「DUAL SCOPE 総合英語」を使ってじっくり勉強＋「Engage」で小テストの勉強がベスト。

・じっくりやるなら「DUAL SCOPE 総合英語」を読んで、間の問題を解いていく。←全部はしんどい人は苦手な項目のみでもOK

・即効性があるのは「Engage」。ただどうしても暗記一辺倒になってしまい、根本的に文法力を鍛えるには不向き。

リスニング：ディクテーションが役に立つよ！

・内容を100%理解した英文をディクテーションするのがよいと思います。音声があるものであればどんな英文でも構いません。（長文の授業の教科書がおすすめ）

・授業中に使っている教材を活用すること。答え合わせした後、必ずスクリプトを見ながらもう一度聞く。①スクリプトを見たらわかった。②スクリプトを見てもわからない。①のところは聞こえるようになる可能性が高いところなので、スクリプトを音読して、音声と文字を結び付けられるようにする。音声CDに重ねて読む（overlapping）のがよいと思います。

英作：入試で出題がある人は↓の参考書が分かりやすくておススメ。必ず辞書を使って勉強すること。活用辞典があるとさらに良い。添削してほしい人は持ってきてください。

【おすすめ参考書・問題集】

●長文 学校の教科書を大切に

●文法

・「DUAL SCOPE 総合英語」

 メリット：何でも載っている。わからないことは全て調べられる デメリット：重い。取り組みにくい

・「Engage」

 メリット：取り組みやすい デメリット：暗記になる

●リスニング 学校の教科書でOK

●英作

・「英作文のトレーニング」シリーズ（Z-KAI 出版）

・「英語表現 WORD SENSE」 Part3に役立つディスコースマーカーが載っています

英語《山本》流勉強法

◆長文に関して **授業の問題集(標準長文演習・発展長文演習)をきちんとやること**。←入試に出ていたものばかりなので授業中真剣に取り組めば確実に力がつきます。必ず音読すること。家に帰ったら音読と単語の確認をすること。

◆文法に関して **Engage の問題集を何回も繰り返し**す。わからないところは①DUALSCOPE 総合英語を見る。②先生に聞く。

授業の問題集(英文法演習)をきちんとやること。

◆まずしてほしいこと

①授業での小テスト（単語、構文など）は真剣にやる。

②単語は最低英語→日本語のパターンで覚えるほうが時間短縮できるようです。１００個覚えるときは**分けないで、毎日100個ずつやることをお勧めします**。最初はしんどいけれどそれはみんな同じ。繰り返しせば絶対いけます。

③**問題集は学校で購入したもので十分**です。とにかく色々やる前に**今あるもの**を繰り返し、愛着が持てるまで頑張りましょう。

④英語長文を読めるようになるにはいろいろなニュースや社会情勢、文化や一般常識など知っていると知らない単語があったとしても何となくわかります。各教科に繋がっています。

【おすすめ参考書・問題集】

パラグラフリーディングのストラテジー①読み方・解き方編 ②実践編・私立大対策編 （河合出版）

長文の読み方のコツがわかると思います。

英語《神高》流勉強法

基本的に、今まで何もしてこなかった人は、勉強しだしてから手ごたえを感じるまで、最低半年間はかかると思ってください。高々1 か月ほど頑張っただけで、才能がない、成果が出ないなどと泣き言を言ってあきらめることのないように！！

【長文】

夏休みまでは内容のわかっている文章を何回も読むことをお勧めします。2年生の教科書を読むのが一番良いと思うのですが、音源がないため、もしリスニングも鍛えたい方は音声のあるものを自分で選んでみてください。方法は以下のものをお勧めします。

◎1分間音読リーディング

1分間でどれだけ早く声を出して読めるかを、記録をつけながら続ける。教科書でいえば1レッスンにつき3～4パートなので、1日10分読めば2レッスンずつ読める。Lesson1～Lesson9（習っていないが読んでみたい人はLesson10も含めてよい）まで5日で完了するはずなので、土日を休んだとしても一週間で教科書を一巡りできる。これを何回転かしているうちに、徐々に1パートを一分以内で読み切れるようになる。基本的に普通の人は音読のスピード以上に早く読むことはできない。できるだけ早く読めるように意味を考えずにとにかく発音してみる。

◎Dictation

教科書には音声がついていないため難しいが、音源のある英語を自分で聞き、聞こえたまま書いてみる。その際スペルがわからなくても、カタカナではなくローマ字で書くこと。聞くときは、単語ごとに音源を止めるのではなく、少なくとも一文（ピリオドからピリオドまで）全体を聞くこと。そしてできれば、聞いた後に自分で答え合わせをして、最後にわからなかった単語を辞書で引いて意味まで調べること。

右へ続く→

【文法】

問題集を何回転できるかが勝負。浮気せず、より完璧にする努力をする。堺東ではEngageを使っているの、これを何回出来たか記録をつけていくとモチベーションが上がる。夏休みまでに5回転できればかなり力がつく。

◎Engage

テンポよく解いていくこと。わからない問題に固執するのではなく、スピード重視でとりあえず1回転やり切ってみる。あとは何回転できるか。記号を覚えるくらいやってしまった人は、次に選択肢を隠して自分でスペルまで書けるようにする。

【リスニング】

一番伸ばすのが難しい分野なので、地道に毎日少しずつするのが一番の近道だと思います。

◎Podcast『NHK WORLD RADIO JAPAN』

アプリの『Podcast』で『NHK WORLD RADIO JAPAN』を探してください。一日10分ちょいで皆さんがよく知っているニュース（新聞を読んでいる人 or ニュースを見ている人限定）が英語でタダで聞ける。毎日配信されるので、少しでも聞き取れる内容を増やすことがポイント。慣れてきたら Dictation をすることで単語も少しずつ増えていく。

【息抜き】

NHKのEテレにはたくさんの質の良い英語番組があります。いくつか挙げておきますので、勉強と思うのではなく、英文を読む際の予備知識を増やす、息抜きをする程度で見ていただければ結構です。

◎基礎英語0～世界エイゴミッション～ ◎知りたガールと学ボーイ ◎ボキャブラライダー on TV

◎おもてなしの基礎英語 ◎世界へ発信！SNS英語術 ◎リトル・チャロ

ちなみに私としては「おもてなしの基礎英語」が一番コンパクトにまとまっていて面白い気がします。

【授業】

これが何よりも重要！これに集中できないならば、ほかのことはするな！！

歴代の先輩で、これをおろそかにした者で合格した者はいない！！とにかく気合を入れて目を開けて聞くこと！！！！

【おすすめ参考書・問題集】

参考書については合う合わないが重要になる。他人から勧められても自分が読んでみて合わないと思ったら買わない方が良い。これから挙げる参考書もあくまで自分が使った上で自分に合ったものである。

◎山口俊治著『英文法講義の実況中継(1)(2)』語学春秋社

最初の1～2章をバラバラと読んで合うようならまずは(1)だけ買ってみるのもよい。私はこの参考書でようやくSVOCを理解することができた。

◎富岡恵著『高校英文法をひとつひとつわかりやすく。』学研教育出版

かなり丁寧な説明をつけてくれているのに加え、見開きの右に問題がついている。これをする人は、答えを見ながらでいいので4月中（できれば春休み中）に一気に全部解いてしまうことをお勧めする。これをすることによって、高校英文法の外観がわかるとともに自分がどこでつまずいたかわかる。

それでも難しいという人は中学英語ができてない証拠。同シリーズの『中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。』がありますので基礎の基礎からやり直したい人にはこちらをお勧め。ただし、これをするなら答えを見ながらでもよいので何があっても春休みで終わらせること！

日本史《井沼》流勉強法

2年生で購入した「時代と流れで覚える！日本史B用語」を、最低2回やってください。(夏休み後半から3回目に入るため)

◆1回目…1日1項目(2ページ)を、必ず対応する教科書・ノートのページを再学習して理解してから、問題集右側の「流れで覚える」をやり、左側の「時代をつかむ」で知識を整理する。

◆2回目…1日2～3項目(4～6ページ)を、左側の「時代をつかむ」をまず読み(記憶の呼び返し)、右側の「流れで覚える」をやり、間違えたところだけ、教科書・ノートに戻る。

※1, 2回目の「流れで覚える」は必ず書いて覚えること！

◆3回目…夏休み後半から、1日4項目×20日で9月中に終了。

※3回目はスピード重視。書かなくてもよい。

【POINT】

後期に、センター試験問題集をやるので、参考書や問題集をたくさん買う必要はありません。「時代と流れで覚える！日本史B用語」だけで十分戦えます。ただし、上記の3回をやらずに、後期のセンター試験問題に取り組んでも、実力はほぼ伸びません。

受験日本史は、じつは前期の各自の復習が勝負です！

【おすすめ参考書・問題集】

◆1回目はじっくり。わからないところは、必ずつぶすこと。

◇日本史用語集 山川出版社(860円＋税) ◇もしくは、一問一答形式の問題集を辞書代わりにするのもよい。

◆1回目のペースは、1日1項目×6日×13週 春休み～6月で終了

◆2回目のペースは、

1日2項目×6日×7週 1日3項目×6日×5週

※近現代日本史の未学習部分は後回しにしてもよい。

地理《深田》流勉強法

まずは、地域の特色に興味を持つ。そして、なぜそうなったかを考えてみる。さらに、共通の性質や法則性を追求する。

さいごに、それらを論理的に考える。

国語・英語・数学の合間に勉強する程度(趣味程度)から始める。

新聞(ネットニュース)の国際欄や環境についてはよく読んでおくとうい。

【おすすめ参考書・問題集】

一度試験問題を見てみて、自分のレベルに応じた参考書問題集に取り組めばよい。

地理をこれからスタートする人向け参考図書

『目からウロコのなるほど地理講義(系統地理編・地誌編)』 『自然のしくみがわかる地理学入門』

『人間の営みがわかる地理学入門』

問題集

『Z会 実力をつける地理100題』

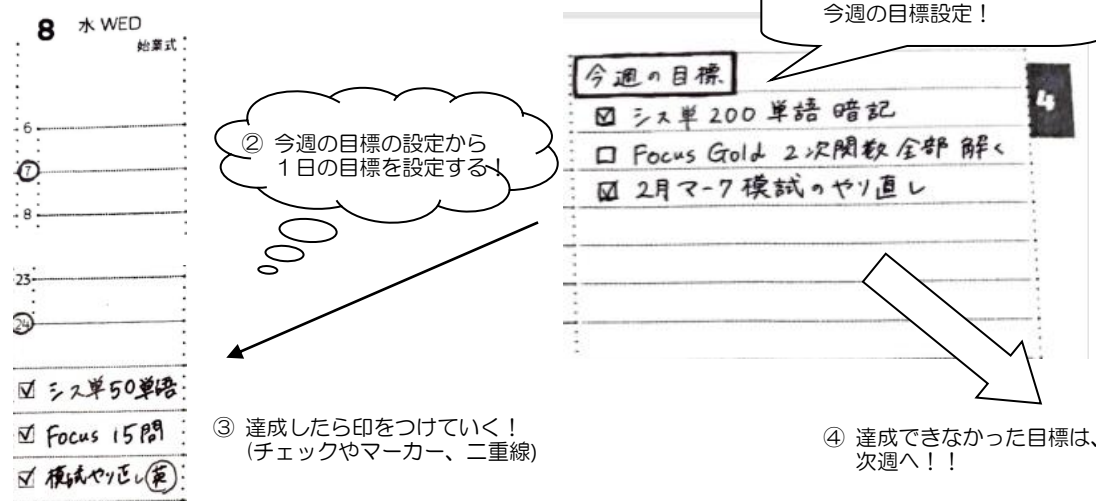
ガシ高手帳を活用しよう！

次回、登校日に配布予定です。手帳の代わりに、ノートなどで代用して取り組んでみよう！！

受験勉強は、『**計画を立てて学習に取り組む**』ことが大切になります。計画を立てるって面倒くさいなあと思うかもしれませんが、「何をいつまでにすべきなのか」を念頭においておかないと、直前にあれもこれもせなあかん！！と焦ることになってしまいます。「いつまでに」と自分で期限を設けることで、常に目標があり、達成するためにはどうすべきかと自分で学習意欲を奮い立たせることができます。

「いつまでに」の期限は短期間の設定(◎「今週中」 ○「1ヵ月で」 △「半年間で」 ×「受験まで」)がおすすめです。計画は計画通りにいかないことがほとんどです。短期間の設定だと、目標達成できなかったときに、すぐに計画の修正ができます。長期計画だと、「時すでに遅し」のリスクがあります。

【手帳(週間ページ)を活用した学習計画の例】



もう1つ大切なことは、『**毎日の学習のリズムの一定化**』です。「空いた時間に勉強しよう」ではなく、「〇〇時から勉強する」と自分の中で習慣化することで、勉強のスイッチが入り集中もしやすくなります。習慣化させる第一歩として、「何時に起きたか」「何時に寝たか」「何時から勉強したか」を手帳に残していきましょう。学校が再開してからは、毎日クラスで記録を残していくことを実施します。休校期間中もできるだけ記録に残しておくで、自分の休日の生活習慣・学習習慣が見えてきます。そうすることで、「この時間は集中できる」と分かってきます。

就職を考えている人も、この休校期間中に情報を集める、面接のための自己分析など自分なりに取り組みましょう。公務員試験を受験する人は、合格が本当に厳しい状況なので、しっかりと対策を！

2021年春、47期生全員が後悔なく新しい道に進めることを願っています

『私が後悔することは、しなかったことであり、できなかったことではない』 by イグ リッド・バ-グ マツ